



これ以上、 いのちを削らせない。

全ての世代に、負担増と給付の削減。

高齢者の患者負担 上限の引き上げ

〈2017年度の実施をめざす〉

高齢者(70歳以上)が外来受診した場合の窓口負担上限額(月額)

厚労省提案

57,600円

高齢者の外来
特別措置を廃止し、かつ、70
歳未満の限度
額にあわせた
場合

※医療費が
100万円と
仮定した場合
※一般所得
(~年収約
370万円)

現在

12,000円

子ども医療費助成への 国の罰則見直し ただし、未就学児に限定

現在、子ども医療費の窓口無料を行う自治体に対し、国が補助金を減額する罰則があります。自治体の反対をうけ、未就学児に限り罰則の廃止の方向。しかし、みんなの願いは国の責任で中学卒業まで、すべての子どもの医療費無料化です。



市販品類似薬の 保険外し

〈引き続き検討〉

すでに湿布の1処方あたりの枚数制限が実施されています。今後湿布やうがい薬、痛み止めなどを保険から外すことが検討されています。



要介護1、2の デイサービスなどは、 将来「総合事業」へ

要介護1、2のデイサービスなどを市町村の「総合事業」に移す方針です。これにより、利用回数が減らされたり、ボランティアに置き換えられることになります。



「負担増」「給付削減」はSTOP!
安全・安心の医療・介護の実現を求める署名にご協力をお願いします。

団体名

国の責任で お金の心配なく だれもが必要な医療・介護を 受けられるように

負担増、給付抑制を国民に強いる医療・介護改悪の中止を求める緊急署名

衆議院議長 様
参議院議長 様

請願趣旨

憲法で保障された社会保障は国の責任で実施すべきです。国の責任で、いつでも、どこでも、誰もが
お金の心配なく必要な医療や介護、社会保障を受けられるようにしてください。

「国保料が高過ぎて払えない」「窓口負担が高くて病院にかかれない」「利用料負担が高くて介護サービスを減らした」「ひとり暮らしが大変。でも特養に入りたくても入れない」など、地域では必要な医療や介護が受けられずに困り、医療や介護など社会保障の充実を求める声が増えています。

その一方で声をあげることもできず孤立死や介護殺人に至るなど、痛ましい事件も後を絶ちません。この上、患者・利用者負担増、医療保険や介護保険給付をせばめる「制度改正」が行われると、いっそうの患者・利用者、家族への深刻な困難を引き起こします。

憲法25条に保障された社会福祉、社会保障の実現をめざし、国の責任で医療や介護を充実するよう、下記項目を
お願いいたします。

請願事項

1. 保険料や自己負担を増やす計画をやめて国庫負担を増額し、医療・介護の保険料と自己負担を引き下げてください。
2. 公的保険の給付やサービスを削減せず、すべての人に安全・安心の医療・介護を保障してください。
3. どこでも必要な医療や介護・福祉が受けられるように、入院・入所を制限せず、病院や介護・福祉施設を確保してください。
4. 医師・看護師・介護職員を増やして、医療・介護現場の労働条件の改善を図ってください。

氏 名	住 所

※この個人情報は請願以外には使用しません

全日本民主医療機関連合会
中央社会保障推進協議会
全国労働組合総連合



全日本年金者組合

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20 天翔大塚駅前ビル
TEL (03) 5978-2751 FAX (03) 5978-2777
E-mail: honbu@nenkinsha-u.org